



桜中だより



坂戸市立桜中学校
校長 石田章浩
令和6年1月11日
【第9号】

校訓 「自主・澆刺」	学校教育目標 自ら学び心豊かでたくましい生徒の育成	生徒数 1年生 93名 2年生 100名 3年生 113名 全校 306名
----------------------	-------------------------------------	--

2024年を迎えて

2024年元旦の午後4時10分頃、令和6年能登半島地震が発生した。まずは、この地震により、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に対して、お見舞い申し上げます。また、被災地の1日も早い復興を心からお祈りいたします。

当日私は、在宅していた。スマートフォンがけたたましく鳴った。「どこだ」「どのくらいの揺れがくるか」と身構えた人も多いただろう。私はTVで確認する。NHKのアナウンサーが「怒鳴るような」声で、津波が来ることを伝えていた。あのような声を聞いたのは初めてだった（このアナウンサーは、初任地が石川県で、知人も多く、ゆかりのある地であったとのこと。聞き覚えのある声であの口調で言われたら、すぐに行動に移した人もいただろう）。被災状況は未だ全容がつかめておらず、復興にどのくらいかかるかも不明とのことだ。私たちができることは何かを考えるとともに、私たちがいつ同様なことが起こるかわからないことなど色々考えなければと改めて考えさせられた。翌日には、羽田空港で飛行機事故。この件についても、思うところがある。また、近いうちに私の思いを伝えたい。

さて、話題を変えていきたい。2024年はどんな年にしたいか。以下始業式で述べた内容の抜粋である。「新しい年になるということは、自分を大きく変えるチャンスが来たと捉えてください。そのためには、自分が決意し、自分が責任を持って実行に移していくことです。一人ひとりの心の中にある決意は口に出して言う必要はありません。むしろ、黙って実行していく方が重みは、生まれてくるかもしれません。明日実現できる決意、一生かけて実現していくような決意とさまざまです。「継続は力なり」という言葉があります。「続くと本物になる。本物は続く」という言葉もあります。つまりいたら、家族、友達、先生に相談すればいいのです。いろいろな人たちの力を借りることは恥ずかしいことではあ

りません。恥ずかしいのは、決意したことを簡単にあきらめたり、投げ出したりすることです」ぜひ皆で協力して、年末には「いい年だった」と言えるようにしましょう。

「古都 京都・奈良」

12月10日から2泊3日で修学旅行に行ってきました。若干の雨に降られましたが、概ね天候には恵まれました。始発で北坂戸駅を出発。乗客はほとんどいない。その中で「座ってもいいのかなあ」という声。「もし混んできて、席を譲った方がいいと判断したら譲ればいいよ」と伝えた。ふじみ野駅中学生が乗車。席を立つ生徒がいる。何も同じ中学生なのにと思ったが。車内ではとても静かにしていた。マナーは素晴らしい。全体を通して、マナーを守って3日間過ごしてくれたと思っている。1年生へ。来年も同じようなことが言われるように今から、「ルールとマナー」を守って生活してください。以下実行委員長の感想です。「私は片柳小学校出身で宿泊行事の経験がありません。その中で実行委員長となり、先生方と協力して修学旅行の準備を進め、絆が深まった3日間になりました。東大寺や清水寺を直接見て建物の美しさや迫力に圧倒されました。日本の伝統や文化について触れることができ、歴史の知識が深まりました。旅館では、全員が落ち着いて過ごすことができました。3日間集団で行動する中で、協調性を持って過ごすことや自己管理の大切さや難しさを学びました。しかし、気を抜くと列が乱れてしまったり、騒がしくなったり、上手くいかないこともありましたが、上手くいかなかった部分は、課題と捉え、これからある集会や普段の学校生活で役立てていきたいと思います。このように、たくさんの学びがあった修学旅行は、細かい時間や規則を決め、円滑に進めてくださった先生方や添乗員の方々様々な面で支えてくれた親のおかげで成り立っています。今後も日々感謝の気持ちを持って過ごしていきたいと思います。

表彰関係

税についての作文	関東信越税理士会埼玉県支部連合会会長賞 1名 坂戸市長賞 1名 入賞 2名
第58回郷土を描く 児童生徒美術展	入選 4名
薬物乱用防止啓発ポ スターコンクール	埼玉県薬剤師会長賞 1名

